

平成 28 年度  
(一社) 静岡県臨床衛生検査技師会  
第 7 回理事会

日時 平成 28 年 12 月 5 日(月)

午後 2 時 00 分～午後 5 時 00 分

場所 (一社) 静岡県臨床衛生検査技師会事務所

平成 28 年度（一社）静岡県臨床衛生検査技師会 第 7 回理事会

日 時 : 平成 28 年 12 月 5 日(月) 午後 2 時 00 分～午後 5 時 00 分

場 所 : (一社)静岡県臨床衛生検査技師会事務所

出席者 : 現在役員数 20 名 (理事 18 名・監事 2 名)

山口浩司 菌田明広 杉澤きよ美 清水憲雄

都築農夫志 中島和浩 直田健太郎

須田達也 羽切政仁 勝又隆子

川口貴子 佐原卓夫 鈴木真紀子

伊藤喜章 市川千津子 遠藤三佳 (書記)

三宅和秀 (監事) 藤原誠 (監事)

(18 名/全 20 名中 うち理事 16 名/全 18 名中) \*敬称略

欠席者 : 山田哲司

松本誠司

議長及び議事録署名人選出

議 長 山口浩司

議事録記名人 杉澤きよ美 菌田明広 清水憲雄

三宅和秀 (監事) 藤原誠 (監事)

## 議題

\*敬称略

1. 静臨技・静岡県臨床細胞学会 共催・後援に関する審議確認事項 (会長)
2. 前回議事録確認 (伊藤)
3. 検査と健康展 反省・感想・報告 (中島)
4. 日臨技・中臨技関係 (会長・伊藤)
5. 各部局報告・審議事項
  - ◇ 広報部 (藺田)
  - ◇ 学術部 (p13～) (清水)
  - ◇ 組織部 (p36～) (杉澤)
  - ◇ 会計部 (p46～) (市川)
6. 中部圏養成校企画 (伊藤)
7. 年賀状について (伊藤)
8. 中部圏医学検査学会プログラム集送付の問い合わせについて (伊藤)
9. 後援依頼～第17回日本心臓植込みデバイスフォローアップ研究会～ (伊藤)
10. 事務所パソコン関係 (築地・伊藤)
11. その他 (伊藤)
  - ◇ 会員異動
  - ◇ 予定表
  - ◇ その他：事務所への出入りについて  
：全国学会関連事項

次回理事会：未定(2月頃)

書記：佐原理事

1. 静臨技・静岡県臨床細胞学会 共催・後援に関する審議確認事項〔山口会長〕

《審議事項》静岡県臨床細胞学会との間で発生した共催・後援の問題について

《経緯》平成28年5月21日の静岡県臨床細胞学会 総会・春季大会学術集会の理事会において、前病理細胞部門長、現病理細胞部門長を経由して、「静臨技より、細胞学会主催の研修会は共催ではなく後援とすると申入れされた」

細胞学会理事会は、静臨技病理細胞部門長であり細胞学会理事でもある方からの申し出なので、「静臨技は後援とする」事を了承した。

静岡県臨床細胞学会 秋期学術集会開催2日前、久力細胞学会長から、山口会長に、静臨技の対応が後援から共催になっている旨の説明要請があった。

当時、細胞学会の理事会で静臨技が後援と発言した発端や理由を、静臨技は把握していない状況下で、「本来は、登録団体は、主催＝共催の間柄であるため、共催扱いで良い事」から、平成28年10月29日に行われる静岡県臨床細胞学会 秋期学術集会は、共催とする旨を山口会長から久力細胞学会長に伝えた。

但し、厳密にはこの登録団体は平成24年3月末～平成26年末で、登録団体としての契約期間は終了している。

《原因》静岡県臨床細胞学会（関係団体）と静臨技、双方の新たな役員の間での連携不良や、「主催」・「共催」・「後援」の不十分な解釈、今までの取り交わし内容の明文化がされていなかった事が、静岡県臨床細胞学会の不振を招いてしまったと思われる。

➡以降、静岡県臨床細胞学会の学術集会は、静臨技は後援とすること、今後は、生涯教育点数は10点となり、自己申請となることを理事会にて承認した。

また、静臨技や関連団体双方の新旧役員交代等の際には、相互の連携をはかり、継続されるべき取り交わし事項などは明文化する事も確認された。

関連して、清水学術部長より追加報告がされた。

久力細胞学会長は、細胞学会主催の研修会に、細胞学会非会員の技師会員が、共催という理由で無料参加し点数を獲得する状況を改めたいとのこと、

また、点数のために共催とするならば、費用負担を鑑み、細胞学会に加入するよう謳ってほしいとのことだった。

2. 前回議事録確認について〔伊藤事務局長〕

出席された全理事により、議事録の確認が行われ、第4回常務理事会議事録と第6回理事会議事録が承認されたことが報告された。

3. 検査と健康展について〔中島常務理事(中部支部長)〕

資料を用いて、検査と健康展の反省点及び感想、決算報告が、中島常務理事より説明された。各ブース担当者や実務委員から挙げられた事項は、検査と健康展のみならず、これから先の多くの企画に対してもぜひ参考にしていきたいとのことだった。

報告終了後、関連事項として、山口会長から発言があった。

来年の11月頃に、メディアメッセージが行われる可能性があり担当予定は西部支部である。検査と健康展は11月内に全国一斉に行われ、東部・中部・西部の持回り制でと考えていたが、東部支部：伊豆市社会福祉大会、西部支部：減塩・低カロリープロジェクトが行われているため、中部支部主体で、検査と健康展を継続していくことは可能だろうか？

(山口会長)

今回初めての試みであったが、会場提供をして頂いたアピタ側も好意的で、次回も開催してもらいたいとのだった。(三宅監事)

東部・中部・西部の各3ヶ所で、開催されるケースもあるのかと思われた。(伊藤事務局長)

中部支部には、現在、担当企画がないため、検査と健康展は中部で行う方向で考えればよいと思われる。(藺田副会長)

討議の結果、来期はメディアメッセージも控えているため、検査と健康展は中部支部主体で開催される予定。➡理事会にて承認された

#### 4. 日臨技・中臨技関係〔山口会長・伊藤事務局長〕

資料のとおり山口会長より説明があった。

平成29年1月27日の日臨技新春賀詞交換会に、県幹事として山口会長が参加する。全国学会を翌年に控えていることから、副学会長の三宅監事、実行委員長の伊藤事務局長、学会事務局長の藺田副会長、学会会計部長の豊田元理事とともに出席する予定。

平成28年度各支部学術奨励賞を受賞された発表者に対し、『医学検査』への寄稿を依頼された。中部圏支部受賞者3名のうち、静岡県では富士脳障害研究所附属病院 検査科 杉山 聡氏が受賞された。12月10日中部圏学会(石川県)における学術奨励賞授賞式に、受賞者が出席困難な場合は代理出席も可能である。

➡都築東部支部長を通じて、確認をお願いした。

資料のとおり伊藤事務局長より下記の説明があった。

第56回静岡県病院学会の開催のご案内について、宮島喜文議員の新聞記事の紹介、『在宅医療チームのための臨床検査』テキストのご案内と感想文の協力依頼について

➡感想文については、川口理事に協力を仰ぐ。

『臨床検査啓発クリアファイルVol.1』の送付について

➡5枚のクリアファイルが送付されてきたので、必要時には使用可能とのこと。

#### 5. 各部報告・審議事項〔各部局長〕

◇ 広報部〔藺田副会長(広報部長)〕

静臨技ニュースが近日発行される旨報告された。

来年1月号に載せる年頭の挨拶文は、全理事に12月15日締切で提出するよう要請された。

来年1月号の会員投稿担当は、鈴木真紀子理事。  
山口会長より、静臨技ニュースに検体採取講習会受講者数の掲載依頼があった。

◇ 学術部〔清水副会長（学術部長）〕

資料（P13～35）につき清水学術部長より報告された。

研修会開催申請：平成28年度東部地区意見交換会（H28年2/10）

平成28年度第3回病理細胞診研修会（H28年2/11）

研修会終了申請：第2回微生物部門研修会（H28年10/15）

平成28年度第3回血液研修会（H28年10/22）

平成28年度浜松市衛生検査所精度管理責任者等研修会（H28年10/28）

平成28年度静岡県臨床細胞学会秋期学術集会（H28年10/29）

静岡県臨床細胞学会平成28年度第2回東部症例検討会（H28年10/11）

➡理事会により承認された。

平成28年度衛生検査所精度管理責任者等研修会が平成28年12月3日に開催され、直田常務理事と羽切理事の参加が報告された。

第3回認定認知症領域検査技師指定講習会が平成29年2月25日に開催予定、参加者募集について依頼があり、HPへの掲載と各施設への参加協力があつた。

静岡市衛生検査所精度管理専門委員会が平成28年12月14日に開催され、大石 和伸氏（県立総合病院）が派遣された。

平成28年度精度保証施設認証申請について、日臨技より周知依頼があり、静岡県サーベイ参加施設に、精度保証施設認証申請案内を一斉メールで配信した。

清水学術部長より下記の協議事項の説明があつた。

検査説明講習会の伝達講習について

総合部門長の弘島氏より、検査説明講習会受講者の自施設での伝達講習につき、その実施要請とそのため教材等の提供につき、理事会の対応と、関係施設への周知について協議が求められた。

➡この件に関して、伊藤事務局長から提案がなされた。

理事会で承認を受けた時点より、総合部門長の弘島氏の責任のもと、提案書を作成し発信してもらい、その後の資料提供等に関する事項は全て任せてもよいと思われる。

➡関係施設への周知方法について、山口会長より提案がなされた。

ホームページの活用や静臨技ニュースへの掲載、テキストは、PDFファイルデータから印刷し利用可能ではないか？

➡清水学術部長から理事会での提案事項を、総合部門長の弘島氏に伝えてもらうことが了承

された。

#### 第 66 回日本医学検査学会一般演題座長候補推薦について

千葉臨技より第 66 回日本医学検査学会の（免疫血清・血液・管理運営・チーム医療）の 4 分野につき一般演題座長候補の推薦依頼があった。推薦期日は平成 29 年 1 月 7 日（土）、座長候補者の資格条件を満たしているかを確認の上、推薦すること。（関連資料 5）

#### 来年の精度管理成績検討会の日程について

「あざれあ」が 2017 年 11 月～年明けまで、大ホールの工事に入り使用不可となる。検討中であった 2017 年 12 月 3 日（日）グランシップ会場が、県総合防災訓練と同日になり使用困難のため、2017 年 10 月 22 日（日）で進めていく予定

→関連して、菌田副会長より提案事項があった。

今回は、精度管理成績報告書作成の準備期間が短いため、ホームページに資料（報告書原稿）の PDF を掲載してもらえると、各施設で早期に検討会などを行え、大変都合が良い、各施設にもその際にはお知らせを配信するとよいだろう（関連資料 6）

#### 静岡県臨床検査精度管理調査成績検討会の振り返り

参加者最終集計結果：会員 303 名（県外会員 1 名）賛助会員 50 名 非会員 20 名 合計 373 名  
運営上の成功点：PC 4 台設置は受付作業の効率化となった。

大ホールの役割分担が成功し、スムーズに会が進行した。

運営上の反省点：文具やゴミ袋、参加費を入れる容器等、不足準備品が数点あった。

病理部門は例年のごとく、座席不足が生じた。

小ホールのカギと倉庫のカギが共通であることがわからず手間取った。

大ホールのワイヤードマイクの不調があった。

賛助会員は名刺の提出にて受付完了にすると良い。

#### 実務委員の参加費の支払い義務について清水学術部長より協議依頼あり

→県学会と精度管理調査成績検討会については、実務委員は参加費支払い義務（2 年間）を課すことが、理事会にて承認された。

#### 各学術部門 HP の作成依頼について

今後の予定が、清水学術部長より説明されディスタンスさんにマニュアルを作成してもらったことが報告された。

→理事会承認後、山口会長よりホームページ本体は 10 月より更新されているが、学術部門は年度内を目処に更新いただきたいと要請された。

#### 平成 29 年度日臨技精度管理調査試料の使用及び費用について

→今回は使用しないことで承認された。

「第 7 回 静岡県医学検査学会」ランチョンセミナー開催のお願いについて

直田常務理事（学会実行委員長）より学会役員紹介と賛助会員に配布する資料の説明があった。

学会執行部メンバー：学会長（清水 憲雄副会長） 実行委員長（直田 健太郎常務理事）  
学会事務局（佐原 卓夫理事・鈴木 真紀子理事）

学会テーマ「道をひらく！ ～Open up a future～」

開催日時 平成29年6月10日（土） 9：30～16：00

会場 「あざれあ」静岡県男女共同参画センター

特別講演 「共用基準範囲と JLAC 検査項目コードの現在と未来」

九州大学大学院医学研究院臨床検査医学・九州大学病院検査部長 康 東天先生  
一般演題は9演題。

年々演題数が増加している、場合によっては、小ホールの活用も考える必要あり。

以上の内容をもとに、ランチョンセミナー開催及び機器展示等につき賛助会員へご案内と  
お願いの通知文を出す事にする。➡理事会にて承認された。

◇ 組織部〔杉澤副会長（組織調査部長）〕

資料のとおり杉澤組織調査部長より報告された。

結核研究奨励賞候補者及び平成29年秋の叙勲・褒章候補者は該当者なしとの報告がされた。

厚生労働大臣表彰（臨床衛生検査業務功労者）候補者に山口会長から、三宅監事・伊藤事務局長の両氏を推薦としたいと提案された。➡理事会にて承認された。

日臨技各賞受賞候補者については、提出期限があるため、各支部にて対象者の有無を調査中であることが報告された。また、優秀論文賞に関して、県立総合病院の3題の論文がその対象になるかを検討中。詳細は後日報告。

静岡県の永年職務精励者表彰該当候補者は、資料にある40名のとおりである。

会員の異動について11月分まで確認済であること、年度末（来年3月末）退会予定会員が4名増、合計9名となったことが報告された。

求人情報掲載について佐原理事より、前回理事会報告（10月24日）以降本日（12月5日）までの掲載希望3件、削除希望0件であったことが報告された。

技師連盟関連、活動報告〔直田常務理事〕

自由民主党党員入会について、現理事19名と豊田前理事で計20名の入党手続きが完了したことが報告された。

2016年度スタートアップ研修について



日時 2017年2月18日(土) 9:00~20:00

会場「あざれあ」501会議室 イブニングセミナー会場「GRILL 炙乃介」

➡各施設に参加者の協力をお願いするよう要請した。

65年史資料収集については現在作業が滞っており、報告事項なし。

◇ 会計部〔市川会計部長〕

資料のとおり市川会計部長より報告された。

日臨技からの会費と平成28年度「生涯教育推進研修会助成金」の送金報告

有限会社 エッチ・アンド・ティーへの「平成28年静岡県臨床検査精度管理調査設定費用」支払報告

平成29年度会費の登録作業の依頼が日本臨床衛生検査技師会から届く

6. 中部圏養成校企画について〔伊藤事務局長〕

平成28年度日臨技中部圏支部医学検査学会(第55回)養成校学生企画において、各県4名の参加者派遣の協力要請があり以下の4名に要請し快諾されたことが報告された。

静岡医療科学専門学校 臨床検査学科 荒木 隆氏

静岡県立病院機構 静岡県立総合病院 萩原 風太氏

磐田市立総合病院 川井 孝太氏

聖隷浜松病院 臨床検査部 大場 恵子氏

7. 年賀状について〔伊藤事務局長〕

年賀状発送先リストについて確認した。

➡理事会にて承認された。

8. 中部圏医学検査学会プログラム集送付の問い合わせについて〔伊藤事務局長〕

中部圏医学検査学会プログラム集の送付希望のメールが、施設会員より事務所あてに届いた。原則、施設会員分は、定数が各施設へ送付されており、運用は各施設に任されている。個人的な配布はされていない。今回は、学会開催期日も近く配布を行った。

会長名にて、個人会員(自宅会員)の方への中部圏医学検査学会(石川県)のプログラム集配布は、希望者のみとさせて頂く旨を会報に記載済み。

9. 後援依頼〔伊藤事務局長〕

第17回日本心臓植込みデバイスフォローアップ研究会の後援依頼があり検討した。

全国的に活動されている臨床工学士の方々による研究会であり、問題はないと思われる。

(菌田副会長)

➡理事会にて承認された。

#### 10. 事務所パソコン関係〔伊藤事務局長・都築常務理事〕

伊藤事務局長より、技師会事務所使用のパソコンのセキュリティーについて説明があった。機部事務員によると、迷惑メールだけでも138件あり、その処理に時間が費やされるため、排除できるシステムの構築をお願いしたい。

また、事務所のパソコンは老朽化しており、古いバージョンのものは処分や整備が必要とのことだった。

都築常務理事より技師会事務所のパソコンの代替更新に当たり、ハード・ソフト及び通信環境等の見積書の提示と説明があった。

見積書を検討した結果、富士通 PC が県内に生産工場がありメンテナンスの面では都合が良く、また、3台購入よりも3台5年間リース契約で考える方が、経費の無駄もないようである。

通信環境については、WiMAXが見積書に挙げられているが、ルーターが1回線のみで不便なうえ単価自体も高いため保留とした。

学会など、会場で多数の回線が必要になる場合もあり、WiモバイルやフリーWiFi、OCNの利用なども考慮に入れ、改めて次回まとめたものを提出するとのこと。

技師会所有のPCにおいて使用状況の説明を山口会長より求められた。

現状、研修会で使用可能なものは、事務所のノートPC1台のみであることを、都築常務理事が説明した。

➡「富士通 PC 3台 5年間リースにて契約」理事会にて承認された。

#### 11. その他〔伊藤事務局長〕

会員異動：資料のとおり伊藤事務局長より報告された。

➡理事会にて承認された。

予定表：資料のとおり伊藤事務局長より報告された。

全国学会関連事項について

運営会社は未定である。ポスター、表紙、ロゴマーク等につき準備検討がされている。

ロゴマークにHAMAMATSUの文字を入れる案件につき伊藤事務局長より説明があった。

会長の指示により、多数決を採る。➡賛成多数により承認。

全国学会における執行部役員が伊藤事務局長より説明された。

学会長（山口会長）副学会長（三宅監事）

実行委員長（伊藤事務局長）副実行委員長（清水副会長・杉澤副会長・直田常務理事）

学会事務局長（藪田副会長）学会会計（豊田前会計部長・市川会計部長、）

実務委員（全理事・榛葉前監事・梶間前理事）

以上

一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会

議長 山口 浩司

氏名 \_\_\_\_\_ 印

議事録記名人

杉澤きよ美 藺田明広 清水憲雄 三宅和秀 藤原誠

氏名 \_\_\_\_\_ 印

氏名 \_\_\_\_\_ 印

氏名 \_\_\_\_\_ 印

氏名 \_\_\_\_\_ 印

氏名 \_\_\_\_\_ 印